

岩手県九戸郡大野村における活動を通じた
地方小都市のまちづくりに向けた将来ビジョンと具体的提案に関する研究

—その2 まちづくりの概念から大野村の将来ビジョンの展望へ—

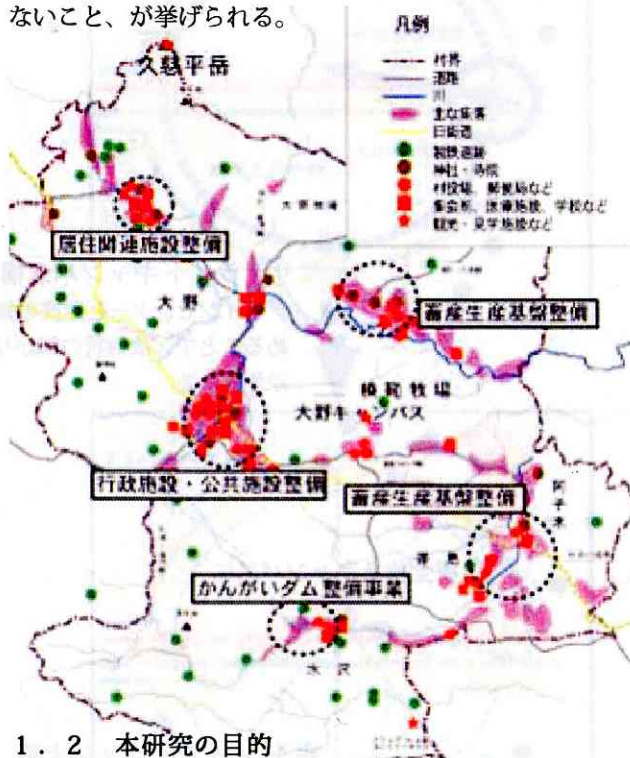
正会員 ○宮本 裕太* 北澤 猛**
遠藤 新*** 池田 晃一*
安藤 真理* 阿部 大輔*
田中 大朗*

大野村 地方小都市 地域振興
活性化 まちづくり

1. 本研究の背景と目的

1.1 大野村の現況

大野村には様々な資源が存在し、また現在整備が進行して
いる場所もある。しかし村の中で人の賑わ
いや活気を感じられる場所は数少なく、今
では産業デザインセンターくらいである。
それは即ち、人を引きつける魅力に欠けて
いるということでもある。主な原因には、
1) 村に分散する各地区が主だった特徴や
基幹となる産業を持たないこと、2) 地区
それぞれが隔離し、連携が取れていないこ
とで集落同士の交流や繋がり、結びつきが
希薄であること、3) 村の核施設である産
業デザインセンターとの連携が殆ど無く、デザインセン
ターの持つ活気や賑わいを(各集落に)引き入れられてい
ないこと、が挙げられる。



1.2 本研究の目的

これまでの調査、分析、2度のワークショップを通じて提
案された「デザインセンターと各地区、各地区同士が連携
を取り合いそれぞれ独自の特徴を持ち、活気や賑わいに溢
れたキャンパスとして機能する」「キャンパスビレッジ大
野」という概念の妥当性や課題を分析、考察する。

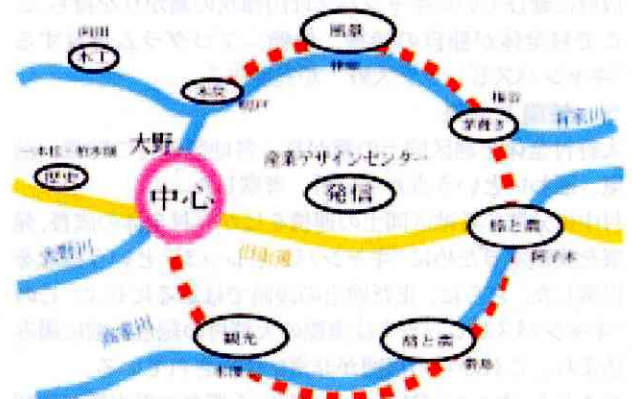
2. 各地区の特徴と課題

各地区の特徴と将来イメージ

	資源 自然・歴史・産業・食	将来イメージ
向田	久慈平岳の眺め・キャンプ場 木工工場 民芸 ケイノ汁	自然資源活用 木工の里
一本松・柏木畑	森 旧街道 たたら	歴史 旧街道たたら 観光
明戸	木炭	
大野	行政施設、公共施設 交通要所 観光拠点 人が多い 歴史的中心 仲町の水路 牧場、牧野 自然景観	村の中心 市 交流拠点
水澤	高家川 まがりや 縄文遺跡 ダム イワナ・ヤマメ	観光 ダム+まがりや 宿泊
高森	有機野菜	
帯島・阿子木	酪・農 リンゴ・ヨーグルト 開拓農家地区	酪と農 産業
権谷	茅葺き	茅葺きのたたら 観光
林郷	広大な水田 とうふ	風景 水田・林 観光

各地区には地区を代表する特徴、顔となりそうな資源がある。
しかしこれらは少数の地元民に認識されているものに
過ぎず、対外的なアピール力を持つものではない。また、
村内でも地区同士で互いにこのような認識はなされていない。
これは即ち各地区同士の交流、つながりの欠如を表す。
以上の分析から、外へのアピール、人を引きつける魅力の
創出、そして各集落の連携の強化という点が重要となる。

各地区の位置づけ



3. 核施設「産業デザインセンター」の位置づけ

現在、村の核施設は産業デザインセンター(大野キャンパ
ス)である。村民の意識としても、観光拠点としても大野
村の中心を担っている。実際に、デザインセンターに関す
るヒヤリング調査では、多くの村民が「デザインセンター
は位置的、機能的にも大野の中心」と認識するまた、デザ
インセンターを管理するふるさと公社の方は「デザインセ
ンターが村各地区の模範となるよう、先陣を切らなくては
ならない」と、核としての役割に言及していた。

